

声なき叫び

痛みを抱えて生きるノルウェーの移民・難民女性たち

ファリダ・アフマディ 著 / 石谷尚子 訳 定価 本体 2000 円+税 / ISBN978-4-7634-0919-5/ 花伝社

3 月下旬発売、全国の書店、Amazon にて予約受付中



「痛みを抱えていることと女性であることは
コインの表と裏のように切り離せません」(本文より)

アフガニスタンでの迫害を経て ノルウェーに移住し
社会人類学者になった著者は 福祉の網の目から抜け
落ちたマイノリティ女性たちの存在に気づく。
女性たちからの聞き取りから明らかになる、移民・難
民の受け入れ先進国、ノルウェーの課題と実態。

目次

- 第一章 ノルウェーは世界一寛容な国？
- 第二章 苦しい生活
- 第三章 多文化社会と多文化主義
- 第四章 スラム街の暮らし
- 第五章 女性 戦争 痛み 愛情
- 第六章 男性による支配と社会による支配
- 第七章 メディアとマイノリティ女性の日常
- 第八章 女性たちの経験は制度を変えるためのヒント
- 第九章 グローバリゼーションから取り残された人たち
- 第十章 出口——マイノリティ女性の希望

日本語版に向けての著者あとがき

(チラシデザイン玉川千絵子)